

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	用排水改修資材支給箇所	箇所	目標	2.00	2.00	2.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	改修され機能向上が図られた用排水路	箇所	目標	2.00	2.00	2.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	用排水路の改修には多額の費用を要するため、地元の負担軽減を図るためにも、材料の支給は必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	改修工事は、要望団体が自ら実施している。
	手段の妥当性	A 妥当である	市支給要項に基づき、材料支給を行っている。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	用排水路の改修工事に対して、市は材料費のみを負担することで、農業施設の機能強化を図ることができる。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	改修工事にかかる費用については、要望団体が負担している。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	材料を支給することで、要望団体が用排水路の改修工事を実施しやすくなっている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	現在、要望がある材料支給については、概ね、対応できている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
事前相談及び支給申請については随時受付しているが、要望内容によっては支給完了まで数年を要する場合があるため、年次計画で対応している。また、近年、耕作者の高齢化、維持管理体制等の変化により、要望件数は減少傾向にある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
なるべく多くの団体に、速やかに材料支給ができるように、要望団体間の調整を図っていく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☒ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 今後も地域との連携を図り、用排水路の機能向上活動に対する地元負担を軽減することによって、水利の維持管理を支援していく。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	